

「知識」≠「知恵」

「頭が良い」ってどういうことなんだろうと思うことがあります。

たとえば、俗に言う「一流の大学」に優秀な成績で入学し、優秀な成績で卒業して、周囲からは「頭の良い、優秀な人物」といわれていた人が、その知識を使って犯罪等の反社会的なことを犯し、発覚した時に多くの人は、「バカな奴」「とんでもない奴」というでしょう。

このような現実をみると、「知識が豊富」なことが単純に「頭が良い」ことではないと思うのです。

前回、「勉強をして知識を増やし、自分の将来を豊かに…」と書かせてもらいました。

文の締めくくりに「頑張ってください。」とも…書きました。少々言葉足らずになってしまいました。

「考える」基本となるのは、「知っている（知識）」ことです。でも、ただ「知っている」だけでは宝の持ち腐れです。知っていることを「どのように活用する」か考えることが「知恵」になるのだと思います。

「知識」と「知恵」は同じではなく、「知識」を基にいろいろなことを考え、最適な行動を取ることが「知恵」と呼ばれるものだと思います。

多くの知識を持つことが、多くの知恵を生み出すことになり、自分自身や周囲の人々の生活を豊かなものにしていくことに繋がるのではないかと思います。

「社会で生きていく力」を身に付けるためには、「知識」を「知恵」に変えていくことが必要だと思います。

そのためには、「知識」と物事の根本をしっかり「考える力」をつけて、最適な「知恵」を使うことが出来るようになることが大切だと思います。

ただの「悪知恵」にならないように注意！

「探究アワード」本格始動

今年度も「国立日高青少年自然の家」と連携して「探究アワード」の取組が始まりました。

昨年度に引き続き日高の自然、歴史、地理、景観等を学び、6つのグループに分かれてテーマを決めて、高校生の視点から地域創生の方策等を発表する取組です。

昨年度は、全国大会の「グループ発表部門」において全国3位に相当する賞を受賞しました。

今年度は、これからテーマを絞り具体的な探究活動に入っていきます。

自分たちが生活している「日高地区」のことをしっかり学んで、より一層の発展をさせていく方策を考えて欲しいと思います。



保護者のみなさまへ

「新型コロナウイルス」の感染拡大がまだまだ収まらない状況の中、7月10日（土）に本校の学校祭である「こもれび祭」を日程と内容を短縮して開催することと致しました。

昨年は、体育祭と抱き合わせて半日のみの「こもれび祭」でした。今年度は1日だけに内容を短縮して実施する予定です。本来であれば、保護者の皆様にご来校いただき、生徒達の活動を見ていただきたいのですが、このような状況ですので、内輪だけの開催とし、保護者の皆様のご来場をご遠慮いただきますことをご了承ください。

